八戸市市民活動サポートセンター
「ふれあいセンター＜わいぐ＞」
情報誌
2022.10月号 No.78

WAIGU

～もくじ～

●開設 20 周年市長挨拶……1
●開設20周年記念わいぐ交流会……2
●わいぐ活動報告 ……3
●スタッフおすすめ わいぐライブラリィ……3
●助成金情報……4
●わいぐ情報クリップ……4
●編集後記……4

八戸市市民活動サポートセンター開設 20 周年記念わいぐ交流会

八戸市市民活動サポートセンター 開設 20 周年にあたり

八戸市長　熊谷 雄一

八戸市市民活動サポートセンターは、平成 14 年 6 月に開設して以来、ふれあいセンターわいぐの愛称で八戸市及び近隣市町村の市民活動関係者の皆様に活用され、このたび 20 周年を迎えることとなりました。

振り返りますと、全国的に市民活動が盛んになる中で、市では、市民の自主的・自発的な活動の育成・促進を図るため、平成 10 年度からまちづくりフロンティア 21 事業を開始し、平成 12 年度には女性模擬議会において市民活動拠点整備に関する質問や意見が出されたことをきっかけに事業の具体化を進め、平成 14 年にふれあいセンターわいぐの開設に至ったところであります。

この 20 年にわたり、ふれあいセンターわいぐは、市民によるまちづくり活動やボランティア活動などを支援する拠点として、活動スペースの提供や情報収集・発信、交流・ネットワークづくりなど、市民活動を様々な面で支える重要な役割を果たしてまいりました。

その間、登録団体の数も当初の 122 団体から、現在では 194 団体まで増加し、福祉やまちづくり、子育てや文化芸術など様々な分野で市民活動が展開されておりますことを、開設者として大変喜ばしく思いますと同時に、これまで施設の運営や活動の活性化に御尽力いただいた指定管理者の皆様並びに登録団体をはじめとする利用者の方々に対し、心から感謝を申し上げます。

さて、市では、平成 17 年 4 月に八戸市協働のまちづくり基本条例を施行し、以来、市民と行政が、それぞれの立場や役割を尊重し、相互に理解し合いながら地域課題の解決に協力して取り組む「協働のまちづくり」を推進しております。

2 年以上続くコロナ禍により、市民活動も思うように活動できない状況が続いておりますが、市といたしましては、ふれあいセンターわいぐの運営をはじめ、今後も様々な施策を通じ、引き続き市民活動団体の皆様を支援するとともに、市民と行政による協働のまちづくりに取り組んでまいりますので、皆様のより一層の御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、ふれあいセンターわいぐが、時代の要請に応えながら、次の 10 年、20 年のまちづくりに貢献し続け、将来にわたり皆様に愛される施設であり続けることを心から願いまして、挨拶といたします。

開設20周年記念 わいぐ交流会

令和４年９月10日（土）
10:00 ～ 15:00
八戸ポータルミュージアムはっち　はっちひろば

「きみという色彩（いろ）あざやかに」をテーマに行われたわいぐ交流会は 20 年の節目ということで、趣向をこらし開催いたしました。

午前中に実施したワークショップでは熊谷市長を招き、グループごとの発表に総評をいただきました。

午後のステージ発表では、8登録団体の活動発表を行い、その他多くの登録団体のパネル展示やグッズ販売も行われ、会場からは歌声や笑い声が絶えず、にぎやかな交流会となりました。

オープニングセレモニー

ワークショップ

活動発表

市民活動グッズ

活動発表

ワークショップ

わいぐ活動報告

●市民活動・ボランティアのビギナー講座

パネル作成講座

第１回　令和４年７月23日（土）
第２回　令和４年７月30日（土）
両日とも 13:00 ～ 15:00

●講師　有限会社赤坂コピーライツジム取締役
コピーライター　赤坂　敬さん

「映えるパネルを作ろう」をテーマに行われた講座。タイトルの決め方や配置の仕方などを学びました。参加者からは、「ポイントを教えてもらいとてもわかりやすく、参考になった」、「POP文字を書く練習が楽しかった」、また、「実際の要素をレイアウトしてもらい、気づくことが多かった」などの感想をいただきました。

●出前わいぐ

出前わいぐ in はちのへホコテン

令和４年８月28日（日）
令和４年９月25日（日）
両日とも 11:00 ～ 16:00

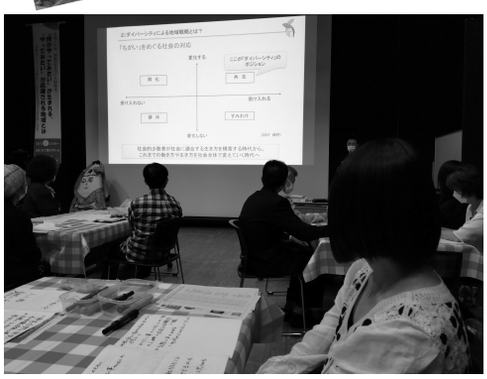
両日とも天候に恵まれ、ホコテンを歩く方々に資料を配布しました。

中には足を止め、チラシの内容や活動団体のことなど熱心に質問される方もいて、大いにわいぐを PR することができました。

●八戸圏域住民活動促進講座

協働のまちづくり研修会

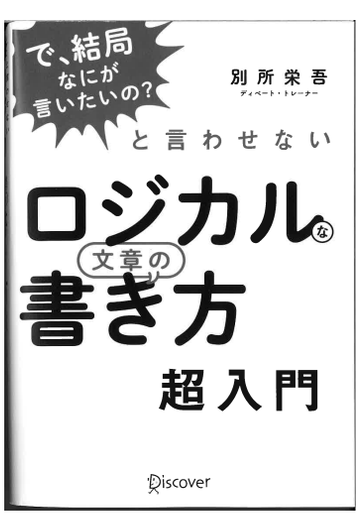
令和４年10月１日（土）　13:30 ～ 15:30
八戸ポータルミュージアムはっち　シアター２



「『何かやってみたい』が生まれる、『やってみたい』が応援される地域とは」をテーマに、NPO法人いわてNPO-NETサポート事務局長・菊池広人さんを講師に招き、イカドンとして活動をしている髙森えりかさんの実践事例発表などが行われました。その後、参加者38名（高校生から80代）がテーブルごとに分かれ、世代を超えた意見交換や交流が行われました。

スタッフおすすめ　わいぐライブラリィ

わいぐでは、住民活動に役立つ書籍や冊子を閲覧できます。
また、わいぐ登録団体の会員は借りることもできます。



「で、結局なにが言いたいの？」と言わせない　ロジカルな文章の書き方超入門

●著者　別所栄吾
●発行日　2021年７月20日　第１刷
●発行所　株式会社ディスカヴァー・トゥエンティワン

講師歴32年、研修受講者のべ４万人の達人が教える面白いほど伝わる文章のコツ33。なるべく文章を読ませずに、情報を的確に伝達する。そんな秘訣が紹介されています。わかりやすい文章を書くのに必要なのは、才能ではなく、ルールをどれだけ守って書くかだけ！さあ、本書で学び、実践してみましょう。

頭のいい人の得する「会話術」
失敗がなくなる話し方　新ルール78
著者　樋口裕一
発行日　2019年10月15日　第１刷
発行所　大和書房

人間関係は言葉でできている。口下手で、話をするのが苦手な人がどのような心構えで会話に臨めばいいのか、具体的にどのような言葉を使えば場を和らげ、人と親しくなれ、自分をアピールできるのか紹介されている。本書でいう「ルール」を使うだけで、簡単に話し上手な人のテクニックを自分のものにできること、間違いなし。

助成金情報

※その他の助成金情報は「わいぐ HP」でもご覧いただけます。

子どもゆめ基金助成金

未来を担う夢を持った子どもの健全な育成を進めるため、民間団体が実施する自然の中でのキャンプや科学実験教室などの体験活動、絵本の読み聞かせ会などの読書活動などへの支援を行っています。

●助成の対象となる活動

◆子どもを対象とする体験活動や読書活動

1. 自然体験活動
2. 科学体験活動
3. 交流を目的とする活動
4. 社会奉仕体験活動
5. 職場体験活動
6. 総合・その他の体験活動
7. 読書活動

◆子どもを対象とする体験活動や読書活動を支援する活動

1. フォーラム等普及活動
2. 指導者養成

●助成の対象となる団体

社団法人、財団法人、NPO 法人、法人格を有しない地域のグループ・サークルなど、青少年教育に関する活動を行う民間の団体。

●助成金の額

【全国規模】

24 都道府県以上で募集 (限度額：600 万円)

【都道府県規模】

全国規模以外で、都道府県下全域または、都道府県を越えて募集（限度額：200 万円）

【市区町村規模】

上記以外で、市区町村単位または、複数の市区町村にて募集（限度額：100 万円）

※ 1 活動あたりの助成金の額は、 2 万円～限度額

※活動実績のない新規団体は、原則として限度額の 2 分の 1 を上限。

※活動実績のない新規団体とは、令和 3 年 4 月以降に設立された団体が該当します。ただし、令和 3 年 3 月以前に設立された団体でも、令和 3 年度及び令和 4 年度に活動実績がなければ該当します。

●申請期間

【一次募集】

活動期間：令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日

申請期間：令和 4 年 10 月 1 日～ 11 月 29 日 17:00 まで

【二次募集】

活動期間：令和 5 年 10 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日

申請期間：令和 5 年 5 月 1 日～ 6 月 27 日 17:00 まで

●申請方法

令和 5 年度より電子申請システムを利用した申請のみ受付。

子どもゆめ基金ホームページよりログインしてください。

電子申請締切日の 17:00 以降の申請は一切受付けません。

●問合せ先

独立行政法人国立青少年教育振興機構

〒151-0052　東京都渋谷区代々木神園町 3-1

子どもゆめ基金部助成課

TEL：フリーダイヤル（無料）0120-579081

FAX：03-6407-7720　　E-mail：yume@niye.go.jp

わいぐ情報クリップ

詳しくは、わいぐまでお問合せください。

●出前わいぐ in ボランティア・市民活動フェスティバル２０２２

令和 4 年 11 月 13 日 (日)

10:00 ～ 15:00

八戸ポータルミュージアムはっち　はっちひろば他

●個人メール会員を募集します。

イベント情報や助成金情報など、わいぐから情報がメールで提供されます。

登録は無料。左の QR コードから申し込みください。

編集後記

ワークショップは楽しい !! を再認識した、わいぐ開設 20 周年記念交流会でした。

声の小さな人も声を出しやすく、みんなが参加する仕組みのワークショップ !!

ワークショップの心得は『話は短めに !! 』『他の人の話は否定しない』『話を楽しみながら、みんなで共に学び合う』。楽しかった～ 30 分という時間がとっても貴重でした。

いつもの同じメンバーだけでなく、たまには外の人たちと交流会やワークショップで語り合うことって大切ですね。

（黒澤）

～編集発行～

八戸市市民活動サポートセンター

「ふれあいセンター わいぐ」

●編集●

公募編集委員＝松原新一

黒澤美智子

わいぐスタッフ

〒039－1166

青森県八戸市根城八丁目８－155

八戸市総合福祉会館

（はちふくプラザ　ねじょう）３階

TEL　0178－73－3311

FAX　0178－73－3312

E-mail support@waigu.info

HP　https://www.waigu.info/

facebook

（八戸市市民活動サポートセンターわいぐ）で検索

⇧こちらもご覧ください

⇦わいぐの HP はこちらからも見ることができます。

わいぐ HP

～「わいぐ」という名前について～

青森県南部地方の「私、行く（わぁいぐ）」という方言が元になっています。「市民が積極的に社会の問題に取り組むきっかけの場所になるように」という願いが込められています。